



宮司プレス 第百五十二号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和二年 二月二十一日

◇宮司の柴田です。 過日の二月十七日の月曜日、午前八時半より祈年祭(きねんさい)を御奉仕申し上げました。 この祈年祭は、「大祭式(たいさいしき)」という重儀(じゅうぎ)の式次第等(しきだいい)のつとつて齋行(さいこう)しなければならぬ大切なお祭りです。 お供え物を準備(これ)を「神饌弁備(しんせんべんび)」と申し上げますが、手水(てみず)等の準備を整え、いざ、着装(ちやくそう)です。 白衣の上に、普段あまりつけない「単(ひとえ)を重ね、袴も前と後ろの長さを、「前上がり」になるよう括(くく)り上げる奴袴(ぬばかま)、さらに、神職の位階(いはい)によって服の色が異なるので、「位袍(いはう)とも言う「袍(ほう)」をまといます。 私共は、武官(ぶかん)や少年用である鬨腋袍(けつてきぼう)を着けるのです。 手水をすませ、宮司以下神職が並んで、ご社殿まで進む、いわゆる、列立(れつりゅう)参進(さんしん)まで、残り十分、およそ九分で着装を完了しました。 参進が始まると、なんと、小雪がちらつきはじめるではありませんか。 それもそのはず、暦の上では、

立春を過ぎたとはいえ、旧暦では、一月の下旬でありますので、この新暦と旧暦のミスマッチを痛感させられた、祈年祭でした。 ◇中国の最古の王朝であった「夏(か)」という国では、一年の「年」のことを「載(さい)」と称していました。 次の王朝である「商」という国は、「祀(し)」と、称しました。 実は、商という国は、占いや神事を重んじる国家であり、戦場に赴く軍隊の先頭にも「巫女(ふじよ)」という不思議な霊力を持った女性を配し、災厄(さいやく)を清めながら行進したそうです。 およそ紀元前千年の周王朝から、「年」が使われたようです。 私どもは、神様から命を頂いて、「戴(さい)」、日々、月々、その歳月の歩みが、まさに、祭事である「祀、祭祀」と共にあったのです。 過日齋行させていただいた春の祈年祭に始まり、秋の稔りを祝い感謝する大祭である「新嘗祭(にいなめさい)」を目標に、年間を通じて多くの「祭」が齋行されます。 祈り、感謝、そして御加護を頂く、その一つのサイクルが、まさに、「一年」と言えるのでありましょう。 そして、実は、「年」は、「稲、お米」

のこともありますから、稲の豊作、さらに、五穀豊穰(ごこくほうじょう)、「稔(みのり)」を祈るのです。 「稔」も「ねん」と読みますから、この「祈年祭、としごいのまつり」は、とても大事な神事なのであります。 宮司を兼ねている六連島八幡宮、さすがに渡船(とせん)を利用しますので、正服は、持参できませんが、田の首八幡宮は、正服を着装し、厳かに齋行したいと考えています。

◇新型のコロナウイルスによる「肺炎」が拡(ひろ)がりつつあります。 これは、まさに、古(いにしえ)の人々が恐れた「はやり病(やまい)」、「疫病(えきびょう)」であります。 今からおよそ二二百年前、崇神天皇(すじんてんのう)さまは、国内に蔓延(まんえん)する疫病を防ぐために、手水鉢(ちようずばち)を設けて、手洗いがいの励行(れいこう)を、お命じにされました。 所説ありますけれども、これが、神社の手水舎(てみずしゃ)の起源(きげん)なのだそうです。 神社神道は、「祓(はらい)」を「大事にする宗教です。その手水という行事は、「禊(みそぎ)」、身を削(そ)ぐ思いをして罪汚(つみけが)れを祓う、その簡略化されたものでもあります。 特に、「外清浄内清浄(げしようじようないしようじよ)」を大切にしていきました。 外清浄は、過去と今を祓ひ、内清浄は、未来を清めます。 夕べに心静

かに、謙虚に一日を振り返り感謝を捧げる、「夕べに感謝」です。 実は、「罪」とは、「自己中心主義、エゴイズム、わがままな気持ち」ですから、謙虚にふりかえることで、感謝の気持ちにかわり、「外清浄」となるのです。そして、朝に祈りでありまして、「前向きに人生を楽しむ」という神社神道の信仰の柱でもって、神様とお約束をする、お誓いをするのです。「汚れ」は、「気が枯れる」ことですから、神様とのお誓い、お約束を破らないよう、気が枯れないよう生活する、これが、「内清浄」です。「外清浄内清浄」の敬神生活と、身を削ぐ思いの簡略化された、「手水、手洗い、うがい」の励行で、つつがない日々のくらしでありますことをお祈り申し上げます。

◇一月の祭典行事会議等活動報告

- ▼初太鼓 *一月一日午前0時
- ▼歳旦祭 *一月一日
- ◆彦島八幡宮 *午前八時半
- ◆田の首八幡宮 *午前0時半
- ◆福浦金刀比羅宮 *午前一時
- ◆貴布禰神社 *午前六時半
- ▼元始祭 *一月三日
- ▼会社関係新年安全祈願祭参拝 *一月四日～一月七日
- ▼六連島八幡宮歳旦祭 *一月十二日
- ▼田の首八幡宮どんど焼き *一月十二日

- ▼彦島八幡宮どんど焼き *一月十三日
- ▼月次祭 *一月十五日
- ▼海上自衛隊補給艦はまな参拝 *一月十四日
- ▼海上自衛隊ミサイル艇参拝 *一月十六日

- ▼朝粥会 *一月二十一日
- ▼関係団体関係

- ◆早起会新年会 *一月十二日
- ◆維蘇志会新年会 *一月十三日

▼山口県神社庁関係

- ◆山口県神社総代会役員会 *一月二十二日
- ◆山口県神社庁顧問参与会 *一月二十二日
- ◆山口県神社庁下関支部総会 *一月二十九日

▼下関西ロータリークラブ

- ◆例会 *一月八日、十五日、二十九日
- ◆理事会 *一月八日
- ▼美祢社会復帰促進センター
- ◆集合教誨(男子・女子) *一月二十七日

▼下関木鶏クラブ一月例会

- *一月三十一日
- ▼迫町自治会役員会 *一月十六日
- ▼下関中央倫理法人会モーニングセミナー *一月九日

◇二月の祭典行事会議等活動報告、予定

- ▼月次祭 *二月一日、十五日
- ▼貴布禰神社月次祭 *二月一日

- ▼節分祭 *二月三日
- ▼福浦稻荷神社初午祭 *二月九日
- ▼祈年祭(きねんさい)
- ◆彦島八幡宮 *二月十七日

- ◆六連島八幡宮 *二月二十五日
- ◆田の首八幡宮 *二月二十七日

▼朝粥会 *二月二十一日

- ▼横浜、ベイスターズ下関ファン集いの会参拝 *二月二十二日

▼関係団体

- ◆彦島八幡宮リーグ *二月一日
- ◆神道会世話人会 *二月十五日
- ◆責任役員常任総代会 *二月十九日
- ◆維蘇志会役員会 *二月二十六日

▼下関西ロータリークラブ

- ◆例会、理事会 *二月五日
- ◆市内五RC合同例会 *二月二十六日
- ▼学校関係
- ◆あいさつ運動 *二月十日

◆西山小学校学校運営協議会

- *二月十九日
- ◆西山小感謝の集い *二月二十一日
- ▼自治会関係
- ◆迫町自治会役員会 *二月二十日

◆迫町自治会役員研修旅行

*二月二十一日～二十二日